

年 組 名前：

市政運営に若者意見

韮崎市 中高生が課題提言

韮崎市は市政運営に若者世代の意見を取り入れる試みを行っている。中高生らが地域の課題などについて考えるイベント「まちづくりカフェ」を開催。カフェで上がった声を、市政運営の基本指針となる「第7次総合計画後期計画」策定の参考にする。市の担当者は「中高生が身近な政治に興味を持つきっかけになればうれしい」と話している。

〈飯野裕平〉



市の課題について話し合う中高生ら

＝韮崎市若宮1丁目

市総合政策課によると、意見募集の方法として市民アンケートも実施するが、中高生参加した。生徒の一部は事前

世代からの意見が大半を占める。若者世代からの意見を聞く機会にしようとして「まちづくりカフェ」を企画した。

21日、韮崎・青少年育成プラザ「ミアキス」で開かれた

イベントには、市内在住や市内の学校に通う中高生10人が

にミアキスで開催された自治体運営「コミュニケーション」に参加し、市の政策や地域課題の解決への関心を深めていた。

イベントでは、「教育」や「交通」「防災」など、気になるトピックを糸口として、それぞれが考える課題とその理由、解決方法を画用紙に書き出して、発表。全員分の画用紙を壁に貼り付け、お互いの発表を見比べたりもした。

JR新府駅の利便性向上について発表した韮崎市の中田町中条の前田みのりさん(15)は、「同世代の人と自分の住んでいる町について話し合ういい機会になった。自分の意見が反映されたらうれしい」と話した。

意見の書かれた画用紙は市が回収。基本計画に盛り込む施策の運用方針や目標などを決める際の参考とする。市の担当者は「今回出してもらった意見を大切に、計画策定に生かしたい」と話した。

(2022年8月31日付 山梨日日新聞 21面)

問1 韮崎の「ミアキス」で開かれた「まちづくりカフェ」は、何を目的としていますか。

.....

問2 参加した生徒の一部は事前準備で、何に参加し、何への関心を深めましたか。

参加.....

関心.....

問3 韮崎市の担当者は、このイベントの意味を、どのように話していますか。

.....

問4 あなたの生活している市町村で、改善してもらいたい課題があれば、書いてください。

.....

.....